

## 終わった後はみんなでホッとコミュニケーション

授業は真剣（・・・いや笑いもありますが）。その緊張がほぐれる瞬間、みなさん、良い表情でコミュニケーションしていますね。こんなふうに、別のグループの生徒さんや先生とお話するその短い時間が、「今日は楽しかった！オリブにまた行きたいな！」に繋がっている、と思うのです。



来週、沖縄へ行くインド人の生徒さんたち。ラッキーにも、本日見学の「先生候補」さんが沖縄出身者の方で、早速、彼に沖縄の地図を書いてもらい、観光名所を教わっていました！とても真剣に聞いていた生徒さんたち。授業よりも質問多し！？



(8月)

## 中川先生のへんてこ日本語

38

これまでに経験したことのない・・・

今年の夏はガチで暑い（暑かった）。テレビやラジオのニュースなどでは、「これまでに経験したことのない暑さ」という表現が毎日のように聞こえてきた。なるほど「とんでもない暑さ」であることが理解できる。2年半前の東日本大震災では、「未曾有の・・・」という言葉をよく聞いた。その規模の大きさが推察される。

これらは、日本・日本人という文脈の中でなら理解されやすいが、もしさほど高温にならない地方や震災のない地域の人たちには、別のスケールを持ってこなければならぬ。

少し前までは、「土砂降り」という表現がよく使われたが、最近では「バケツをひっくり返したような雨」と表現する。確かに具体的で、どのような状態かわかりやすい。



そもそも比喩表現は、話し手と聞き手が共通の土壌のもとで、たとえられるものが容易に認識されることが前提である。その認識が、異なったスケールを持つ日本語学習者には、異なって解釈されることも多々ある。

「雪のように白い」と言っても、雪を見たことのない人にはその白さはつかめないだろう（「綿のように白い」とか「雲のように白い」と言うらしい）。「紅葉のような手」も同様である。「仕事が山のようにある」なんてのは机の上に積み上げられた書類の山が容易に連想できるだろうか。



「マツチ箱のような家」という表現があるが、マツチを使わなくなると理解しづらくなるし、日本のうちも、もはや小さくない。

比喩表現の習得は、実際に日本で生活しなければ困難となる。海外の学習者には、それこそ「雲をもつかむような」、「経験したことのない」困難を味わうことになる。



# 入会班のつづきやき...



人の出入りに一番近い入会と受付係。この係を長くやっていると、“負の気配”というものを感じられるようになります。

見学に来られた人（日本人）は、たいていの人が、「とても楽しかったです！ おもしろそうですね！」と、好感度抜群の感想を述べて帰られるのですが、期待して待てど、再びオリーブに来て入会される率は、5人に1人くらいの割合です。（小春ドンブリ勘定ですが）

“正の気配”（あっ、この人は入会しそう！）は、残念ながら外れることが多いのですが、反対に“負の気配”（辞める気配）というのにはとても敏感になっていて、こちらに近づいて来られた時に、“もしかして辞める話？”とだいたい当たります。

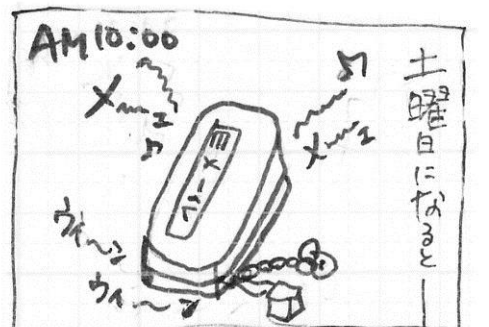
残念ですが、ボランティア活動である以上、強引に引き止めることはできず、事情を受け止め、最後は、「残念です。でもまたいつでも戻ってきて下さいね。」としか言えないのです。

少ない人材のオリーブにとって、辞められることは大変な痛手となるのですが、辞めるまたは休会する旨をきちんと伝えて下さると、オリーブが嫌で嫌でしようがない、ってわけじゃないんだよなーと安心しています。でも静かに（ちょっと皮肉）去っていく方は、色々

な事情の中に、オリーブが嫌になったことも多少含まれているのかなあと考えたりもします。生徒さんの場合も然り。

生徒も先生も流動的です。しばらく生徒さんを受け持たない期間もあるかもしれません。やる気を持って来ておられるのに悪いなあ”と思いつつも、毎回来てもらえるのは、入会班としては非常に助かるのです。

もし、生徒さんがいない…でもやる気はあるのにといい時は、入会班に声をかけてください。お手伝いしてもらおうことがあると思います！（2013年度も入会係 小春 京子）





# 気になるあの人 インタビュー

魏 薇 さん



外国人が日本語を教える側のスタッフとして入会されるのは、19年間のオーリーブ活動の中でも数えるほど。魏薇さんは、中国は長春出身の留学生です。急に授業をお願いしてもいつも快く引き受けてくださり、とても熱心に日本語を教えられる姿に常々関心し、魏薇さんってどんな女性なのか知りたくなりました。

— なぜ日本に興味をもたれたのですか？

昔から、日本語のドラマや映画に憧れていました。日本では毎月映画館に通っています。最近の映画では(ちょっとと言うのが恥ずかしいけど…)『告白』が好きです。日本人は、親切、人情が感じられます。

— 日本に来てみて、思っていた日本とイメージが違ったことはありますか？

日本のドラマを通して思っていたのは、日本人はつつましく、おとなしいイメージ。でも、実際に日本に来て出会った人たちは、思ったよりも冗談もよく言うし明るい。関西だからかな？

— 日本語を実際に教えてみてどうですか？

思ったより難しいです。中国語に通じる人に教えるのはいいのですが、中国語も日本語も通じない人に教えるのはすごく難しい。例えば「ダイビング」という言葉を説明する時など。でも教えながら、身体を使ったジェスチャーがいいと感じました。自分も外国人だし、日本語を習得する時の難しさがわかる。その点は、教える時に役立っていると思っています。日本語を教えることは楽しいし、生徒の笑顔を見た時、とてもやりがいを感じます。

— 日本の好きなのところは？

京都の街が好きです。日本らしい街だと思います。街中を歩いている人も着物を着ていたりして。日本は「伝統の継承」が素晴らしいです。中国の伝統的なチャイナドレスは、結婚式など特別な時にしか着なくなりました。でも、日本で着物は度々着られていますよね。浴衣や白無垢もあるし。お祭りもたくさんありますね。祇園祭に行った時、中国唐の時代の衣装と同じだなと思いました！

— 花火は見ましたか？花火は中国から伝来されたものですよね？

中国の花火大会は、冬(お正月)にあるんです。私の住んでいる長春では、冬になると-30℃まで気温が下がります。防寒着をまとった人々が街の真ん中に集まってきて、寒い中花火を見るんです。

— 最後にオーリーブにひとことお願いします。

オーリーブは、先生対生徒が小人数なので、質問もしやすく信頼関係が築きやすいと思います。オーリーブに入って、自分の力不足を感じます。他の人の授業を見て力をつけたいです！

「写真を撮らせてください」と言うと、「写真は嫌いなんです」ととても恥ずかしがっておられたのを、むりやり撮らせてもらいました。魏薇さん、ありがとうございました。(インタビュー 小春京子 8月10日)



## 日本語を教えています。～新米教師日記～②



ある日の授業で『声』と『音』が話題になり、ひとりの生徒が質問をしてきました。「こえ・・・、ひと、とり、フッフッフッフッフ(鼻息をふがふがしている!)? おと・・・、くるま、エアコン、・・・(息を一生懸命とめている!)?」彼女は、生きているものは声、生きていないものは音?と言いたかったのですが、言葉が分からなかったのでジェスチャーで伝えてくれたのです。この文章で伝わっているかどうか分かりませんが、彼女のジェスチャーを見たら言いたい事がすぐに分かったし、何より可愛かった!

日本人は欧米人に比べて、ジェスチャーが上手じゃないと思います。恥ずかしい～という気持ちが先にたってしまうからだと私は思っているのですが、日本語教師は時に演じる事が必要だと教わったので、私は恥ずかしさをかなぐり捨てて、必要な時はジェスチャーを使って説明をしています。学生時代の友人が見たらきっと笑うだろうなあ・・・。

その後も彼女は、分からない日本語がある時はジェスチャーを交えて言いたい事を伝えてくれます。日本語を教える立場としては、ジェスチャーなしで言いたい事が言えるようになってもらわなければならないのですが、可愛いしおもしろいから少しくらいはいいかなーと思っています。(小島 裕子)

 先月の活動(8月)

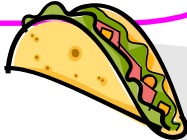
日本語教室 8/3(M),10,24,31 (4回)  
 まちセン運営協議会全体会 8/8 (木) (田中一)  
 おうみ多文化交流フェス実行委員会 8/20(火)(恩地)

 今月の活動予定(9月)

日本語教室 9/7(M),21,28(3回)  
 BNN 会議 9/14 (土) (納谷)  
 まちセン運営協議会施設部会 9/19(木) (田中一)  
 おうみ多文化交流フェスティバル 9/15(日)  
 (恩地、重松、豊村、中村、佐野、納谷、SP 松尾)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●( )内は参加者、または 参加予定者。敬称略

パーティでお世話になったデボラさんが、  
 他民族料理コーナーで出店されます。  
 そちらものぞいてみてくださいね。



会員の動き(8月)

<入会>

すぎやま ひとし  
 杉山 仁さん(8月10日入会)



若い頃、海外で生活していたことがあり、その時、多くの外国の方にお世話になりました。いつか、そのお返しをしたいと思っていました。日本語を教えた経験はありませんが、少しでも役に立てればと思っています。どうぞよろしくお願いします。



お知らせ

**ええやんか！おうみ多文化交流フェスティバル**  
**9月15日(日) 10:00~16:00 ロクハ公園(草津)にて**  
 内容：多民族料理、野外ステージ、民族衣装体験など  
 滋賀県在住のさまざまな国の方がこのイベントに参加されます。その数は、毎年ハンパじゃない。「こんなに身近に外国人がいるんだ」ときっとびっくりすることでしょう。草津駅、草津市役所から無料シャトルバス運行。

8月の参加人数

	8/3	8/10	8/24	8/31
先生	14人	12人	14人	14人
生徒	13人	10人	11人	18人

「おかえりなさい♪」 復帰のお2人です！

よしだ えみ  
 吉田 瑛美さん(8月10日 賛助会員→受付係へ)



はじめまして、の方がほとんどですね。学生の頃、オリーブにきていました。また、入会、受付でお世話になります。宜しくお願いします。

さの れいこ  
 佐野 玲子さん(8月31日入会)

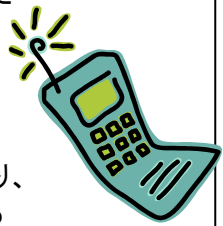


サザン？ チューブ？ 夏とともに、また帰ってまいりました。皆さんのお仲間としてノリノリで(年もかえりみず)カンバリマス。これからもよろしくお願いいたします。

<退会> なし <賛助会員> なし

編集後記

8月のとある日の夕方。職場で“ちろりちろり…♪”と音が鳴った。と思っていたら、次々に“ちろりちろり♪”“ちろりちろり♪”と、まるで音のリレーのように室内に鳴り響く。「え？誰の携帯？じゃない…非常ベルでもない…なにになになに？」  
 と思っていると自分の携帯も鳴り、理解した。災害を知らせる携帯警報。身構えると同時にこの非常事態に、この音の光景を滑稽に思った。皆も笑っていた。スクランブル交差点ではもっと合奏状態だったんだろうな…などと想像しながら。結局これは誤報だと後でわかり、一安心。いかに皆が携帯を携帯しているか。改めて感じたひと騒動！？だった。 ちはる



訂正：8月号の3ページ目、右上の女性の名前「石井さん」ではなく、正しくは「石原さん」でした。お詫び訂正いたします。